



飛騨の将来を担う子供たちを体験を通して育み、多文化共生社会を認識し協働で推進していきます。

次に、外国人が身近な場所にいることで、日常的に異なる文化や言語に触れることができます。これにより、日本人スタッフも国際感覚が養われ、グローバルな視野が広がります。また、外国人スタッフが知識・技術を習得し成長すれば、新たな価値観や発想をもたらし、組織の柔軟性や対応力の高まりや日本人と異なる視点や発想を取り込むことができるのではないかと考えます。より長期的に考えれば、日本の技術や知識が外国人労働者を通じて海外に伝わることで、国際交流も促進されます。他にも地域の活性化、送り出し国との外交・経済関係の強化にも寄与する等のメリットがあります。このようなメ

ご利用者様ご家族様には、平素よりご理解とご協力、ご指導いただきありがとうございます。
今回は、多様性社会が重要視される昨今の現状を背景に、当法人、主に当老健での取り組みと課題について述べていただきます。
当老健では、二年前から特定技能外国人を受け入れ、現在は九名を雇用しています。フィリピン・インドネシア・ミャンマーの三か国からです。外国人の雇用は、単に欠員を埋め合わせるためだけではなく、多くのメリットがあります。最も直接的なメリットは、深刻化する労働力不足の解消です。少子高齢化により日本の生産人口は減少の一途をたどっており、多くの産業で人手不足が深刻な問題となっています。介護・福祉業も同様です。介護人材の不足は、二〇四〇年度には約五十七万人不足すると示されています。安定した事業の継続、成長、安定したサービスの提供のために外国人の雇用は絶対的であると考えています。

リットを最大化するためには、彼らが能力を発揮できる環境づくりが重要で、言語サポート・生活支援・キャリア開発機会の提供など、安心して働ける体制を整える必要があります。また彼らばかりに努力を求めるのではなく、日本人スタッフもあらゆる面での相互成長する姿勢が必要だと考えています。
外国人の雇用に加え、障がい者雇用で採用され、トレーニングを活用し、障がい者雇用で採用され、私たちの業務を補ってくださっている人材も活躍中で、少しずつ就労時間を増やしています。
また働き方の多様化です。七十歳までの就業機会の確保・適切なルールに基づく副業や兼業・短時間勤務者の雇用・七十歳以上の就業で「誰もがより元気に長く活躍できる社会の実現」を目指しています。
介護現場の多様性を職員の身体的・属性の違いを主に施設での取り組みについて述べてきました。多様性社会とは、単にさまざまな人が集まっている状態を示すのではなく、その多様性が生かされる社会です。それを実現するためには、個人の尊重・差別の解消・機会の平等・相互の受容と協力が必要です。まずは、日々の意識や行動を少しずつ変えることが、社会全体の大きな変化につながると考えます。日々の生活の中で意識するだけでも大きな一歩になり、小さな積み重ねが、誰もが自分らしく生きられる社会の実現につながると考えます。
最後に、それいゆ憲章の一文を引用します。「私たちは互いの立場を認め合い人としての尊厳を守ります。」多様性社会で最も重要な理念であると考えます。

それいゆ 広報

Vol.141

医療法人 同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ
TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック
TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂医院
TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション
TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ
TEL0577-37-3360
- 病児保育室プチそれいゆ
TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ
TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ
TEL0577-35-0710
- シャロン・ド・それいゆ
TEL0577-34-5026
- Dr.Orishige ビオメゾン
TEL0577-37-0800
- りあん・ド・それいゆ
TEL0577-32-8166



介護老人保健施設 それいゆの取り組み

介護老人保健施設それいゆ
看護介護部長 今井靖子

今井靖子



介護老人保健施設それいゆ

看護介護部介護主任 上坪真也

日頃より当施設をご利用いただきありがとうございます。

現在の日本は高齢者人口の増加に加え、多国籍化、家族形態の多様化、性別・文化・価値観の違いを背景に「多様性社会」へと大きく変化しています。このような社会では、すべての人が安心して介護サービスを利用できる体制づくりが重要です。日本においては外国人人材の受け入れが進み、介護の分野でも特定技能制度によって多くの外国人が働くようになりました。また、介護を受ける側も外国にルーツを持つ高齢者や、LGBTQ+の高齢者、認知症を持つ高齢者など、様々な方が増えていくことが予想されます。今後現場では身体的なケアだけでなく、個々の文化や心理的なニーズに対応した支援が求められます。一方で介護現場では慢性的な人材不足という深刻な課題を抱えており、質の高いサービスをいかに維持・向上させるかがテーマとなっています。

私たちの働く職場でも慢性的な人員不足に悩まされています。そのため外国人介護人材の受け入れが進められ、現在九名の職員が現場で活躍しています。外国人職員（以下SSW）への関わりの中で日本語の理解度や飛騨地方の方言によるニュアンスの違いなどから、現場でのコミュニケーションに課題を抱えるケースもみられます。多国籍化していく職員間、限られた人員の中でも安心・安全なサービスを提供するためには、職員の研修とSSWとの情報共有を含めたチームケアの強化、見守りセンサーなどを使用したICTの活用、紙媒体から電子化による職員の負担軽減、地域・法人内との連携が必要となります。

介護は個人の尊厳と日常生活を支える重要な分野です。これからの介護サービスは多様性を個人の価値として捉え、改めて個性を大切にすることを考えています。

通所リハビリテーション

通所室主任 白川浩代

平素はそれいゆ通所リハビリの運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。昼間はまだまだ暑い日が続いていますが、ふと空を見上げるとうろこ雲があり、やはり季節はちゃんとめぐっているなと感じる今日この頃です。

観光で財政が成り立っているといっても過言ではない高山市において、街中はやはり外国の方が多くという印象です。また観光客だけでなく、様々な職種で外国人労働者の方を見かけることが多くなってきました。

当法人も同様に昨年から特定技能一号の方が働いてくれています。ミャンマーから来てくれた二人は、当初通所リハビリで勤務してくれていました。正直、私たち日本人スタッフに不安がなかったわけではありません。何より利用者様が受け入れられるのが心配でした。さて、働き出して、どうだったでしょう？ 心配をよそに利用者様方は笑顔で楽しく接してくださいました。ミャンマーのお二人も素敵な笑顔で、お国柄もあるのでしょうか、丁寧な対応で優しく接してくれていました。今は別の部署に異動になりましたが、今でも顔を見るとお互いに声を掛け合う様子が見られます。見ていてほのぼのとした感じです。別の部署にはインドネシアの方が四名みえます。これまたミャンマーとお国柄が違い、とても明朗かで元気です。利用者様方は入浴時にお会いすることが多いと思いますが、利用者様の名前もすぐに覚え、必要な物品を準備したり、その方に合った対応をしてくれそうです。『外国人には無理かも』という意識を変えるべきは私たち日本人であることに気付かされました。今では彼女達が居ないと困るほどのです。

固定概念を捨てるのが大切な場合もあることを知ることができました。これからも新しいことに挑む大切さを忘れず、日々の業務にあたり、新しい発見をし続けていきたいと思っています。

お知らせ

■予防接種の予診票が市役所から届きます

インフルエンザ及び新型コロナウイルス予防接種の予診票が市役所からご自宅に届きます。（六十五歳以上の方、六十～六十四歳で身障手帳一級の方）但し、接種希望であっても今まで予防接種を受けた事の無い方は市役所へお申し込み頂く必要があります。予診票がお手元に届きましたらすべてご記入の上、当施設受付までお届け下さい。料金は当月ご利用料と併せて請求させていただきます。

●インフルエンザ予防接種

十一月中旬から

●新型コロナウイルス予防接種

十二月上旬から



インドネシアから現地養成校の校長先生が見学のため来日されました。

6月 運動会



歳時記



8月 法話



仏教讃歌を歌う会様

7月 慰問



高山芸者「眞美姐」廣野様

8月 夏祭り



9月 敬老会



ケアプランセンターそれいゆ

介護支援専門員 牛丸飛鳥

日頃はケアプランセンターの業務にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

「ダイバーシティ」という言葉を、ご存じですか？

ダイバーシティとは、「色々な人がいる」という意味ですが、介護業界では「それぞれの力を組織の力として活用する」という意味で使われることがあります。介護問題は多岐にわたり、二〇二五年には約三十七万人、二〇三五年には約七十九万人になると言われている人材不足や、それに伴う経営難、老々介護、介護難民、虐待、ハラスメント…などを耳にすることが多くなりました。この問題に介護現場では、ダイバーシティの考え方により、できる方法で最大の効果をだすことが大切になります。

当ケアプランセンターでは、業務効率化やコスト削減、事業所内での情報共有といった業務改革に取り組んでいます。「個々の力を最大限生かす環境作り」が心にゆとりのある業務に繋がると考え、ご利用者様、ご家族様、サービス事業所等の関係者との関わりを大切にしたいと考えています。



それいゆ訪問看護ステーション

作業療法士 井畑珠実

八月から訪問看護

ステーションの仲間

入りをさせていただきました

きました、作業療法

士の井畑です。

作業療法士はあま

り聞き慣れない職種

だと思っています。作業

療法とは、病気や怪

我、障害等によって

日常生活（食事、入

浴、仕事、遊び等）に困難を抱える人に対し、

個々人に合わせた作業活動（手工芸、家事、運

動、リハビリ等）をもちいたリハビリテーショ

ン療法です。これらにより心身の機能回復、社

会的適応能力の向上、そしてその人らしい生活

の再構築を支援して、生活の質の回復を目指し

ています。

私は訪問看護ステーションに所属しているの

で、利用者様のご自宅に伺ってリハビリをしま

す。その人その人の病状や生活様式にあわせ、

少しでも長く在宅生活が続くように、生活しや

すい体作りのお手伝いをしたり、福祉用具の提

案や生活環境の調整をさせていただいたり、介

護する方の負担が軽くなるよう助言させても

らったりと、利用者様が安心して安全に在宅で

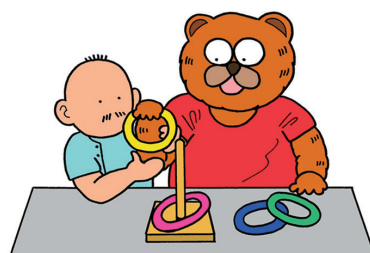
生活ができるよう支援させてもらっています。

介護保険が始まって二十五余り、サービス

も多様化している訪問看護で、個々の利用者様

にあわせてリハビリが今後も提供できるよう、

努めて参ります。



ヘルパーステーションそれいゆ

管理者 野島尚子

暑く長い夏が終わり、少しずつ秋の訪れを感じられるようになりました。日頃はヘルパーステーションそれいゆをご利用いただき、ありがとうございます。秋の味覚・お月見・紅葉・祭りと、美しい季節を皆様楽しんでお過ごしください。

高山のような田舎町で若者が少なく、奇抜な店舗もない状況での身近な多様性といえば、高山市の在住外国人人口が一〇〇人を超えていること、観光地であることもあり、主に外食業界では英語を話される飛騨弁の方が多くなっています。

介護業界もいずれ、外国の方の介護を行う時がくるのでしょうか。外国語や生活習慣の違い等を学ぶためにも、外国人労働者の受け入れは益々必要になっていくと思います。

障がい者、高齢者、外国人と多様な人達と一緒に働く機会が増え、それぞれの状態や立場に寄り添った業務分担を行うために、お互いが支え合い助け合っていくことができる職場環境作りを大切に、一人ひとりの身体状態や生活スタイルに沿った支援をおこなう事で、利用者様の安心と満足に繋がっていくのだと思います。





秋の防災訓練



敬老会では、皆さんとってもお元気！

オープンハートサクソフォンカルテット様による敬老のお祝いコンサート
大いに盛り上がりました！

九月は敬老会、秋の防災訓練、敬老のお祝いコンサートがありました。今後もご利用者様が安心・安全で楽しく過ごしていただけるよう、工夫を凝らしてまいります。

Dr. Ours-Goodman



できるよ
う、支援
させてい
ただきま
す。

十月になり秋の風も心地よく感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
シヨートステイはご家族の介護負担軽減やご本人の心身や生活機能の維持向上、社会的交流の場でもあり、利用目的は様々です。昨今ご家族の多様な働き方やライフスタイルが広がることで、介護者の介護負担は増加しているように感じます。
シヨートステイでは、介護する側のご家族と介護される側両方の生活の質を支え、安心して在宅生活が継続できるようサービスを提供させていただいております。

介護においては、ご利用者様一人ひとりの個性や多様な背景にあわせた、価値観を尊重した個別のケアが大切とされています。利用者様の入れ替わりが多いシヨートステイではありますが、利用者様同士が会話を楽しめる環境作りにより心理的な活性化を図ったり、疾患別等のグループ分けや個々の能力に応じた内容でのレク活動等を提案させていただきながら、利用者様のできる事を活かして、その方らしく住み慣れた地域で安心して生活



介護福祉士 小林 智子

シヨートステイそれいゆ



介護に不安・お困りの事があるご家族様・ご本人様、いつでもお気軽にご連絡ください。随時ご見学・ご相談を承っております。

シャロンのサービス名は小規模多機能型居宅介護といえます。通い（お迎え七時から十一時、送り十五時から十八時、個別での送迎可能）、泊り（緊急の利用にも対応）、訪問（家事援助、身体介護）を一事業所で提供することで、対応も早くできるというメリットがあります。生活が多様化している現在、ご家族、ご本人様と相談しながら生活パターンにあった介護サービスの提供を心掛けていきたいと思っています。

暑かった夏はもとより、涼しくなっても水分補給に気を付けてください。「喉が渴いた」と思った時はもう遅く、脱水を起こしています。そうなる前から沢山の水分を補給しても遅いのです。こまめに水分を取る習慣をつけていただき、健康な生活が送れるようにしましょう。

猛暑にて熱中症の不安が多い日々が続いておりますが、急な秋の訪れに朝夕寒さが身に染みる毎日です。いつもシャロン・ド・それいゆのご利用ありがとうございます。



管理者 牧田 功

シャロン・ド・それいゆ

病児保育室プティそれいゆ

管理者 中谷美穂

厳しい残暑から、朝晩は肌寒さも感じるようになりまし。日頃は病児保育室プティそれいゆにご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

高山市も年々出生数が減少しており、核家族が大半を占め、親御さんの子育て環境も様々です。病児保育室は「仕事が休めないから利用する」ばかりではなく、食事や水分の摂り方、お薬の使い方などご家庭で困っていることがあれば、お子さんに合った方法を一緒に考えたりすることで、少しでも気持ちが悪くなったり、不安が軽くなったりする場所でありたいと思っています。不安で辛い時、困った時にこそプティそれいゆをご利用ください。

お子さんの体調不良は突然です。ご利用の予約は、当日七時半までにご連絡ください。スムーズにご利用いただけます。ご家庭の事情に



合わせてご利用いただけます。ご家庭の事情に、スタッフもできるかぎり柔軟に対応しています。親子ともに支える場所であるように目指しています。

同仁会の元気な仲間 大募集！

- 資格／18歳以上（介護職は資格取得見込可）
- 時間／シフト制（応相談）
- 給与／当法人の規定による
- 休日／1ヵ月単位の変形労働時間制 年間休日105日
- 社会保険完備、各種手当有り、福利厚生有り

- 託児所あり（3歳未満）
- 子育て中でも職場のスタッフがフォローしますので仕事がしやすい環境です
- 産休・育休・看護休暇等、安心の福利厚生
- 医師が24時間対応だから夜勤も安心です
- パート希望の方はご相談下さい
- 20～70才代まで幅広い年代が在職し家族のような雰囲気です

- ①看護師・准看護師（ショートステイ・老健施設・訪問看護）
- ②介護職（老健施設・小規模多機能・訪問介護）
- ③言語聴覚士・理学療法士・作業療法士（老健施設）
- ④ケアマネ（ケアプランセンター・小規模多機能）
- ⑤生活相談員（有料老人ホーム・老健施設）
- ⑥介護助手（無資格パート）
- ⑦保育士（病児保育室）



編集後記

照りつく日差しで肌もピリピリした今年の夏を、皆様はどう過ごされたのでしょうか。私は南の地方で生まれたせい、暑さより寒さのほうが苦手ですが、年々、夏の暑さの度合いがヒートアップしている感じはあります。

昨年からは当法人で働きだした特定技能外国人のスタッフも皆、年平均気温が20℃位の気候育ちなので、口を揃えて「最初は冬の寒さが辛かった」と話してくれました。しかし、若くて体力のある彼等は、とても一生懸命にこの地の生活と仕事に頑張っていることにチャレンジしてくれています。風土も文化も違い、頼る身内もない日本の飛騨での就業は、とても勇気がいる選択だったことでしょう。

先日、高山市の『広報たかやま』に当法人の外国人スタッフ取材していただきました。その中の本人達のコメントで「私だけでなく、在住外国人は困っていることがないほうが珍しいと思います。」とありました。慣れない環境で彼等が力を十分に発揮できますように、バックアップしていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



取材を受けるスエさんとアツニッサさん